平成21年度 施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成21年8月3日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	14130	
政策名(章)	第4章 人間性豊かな子どもを育成します	評価担当局	企画財政局	
基本施策名(節名)	第1節 ゆとりある学校教育の創造	施策所管課	企画政策課	
施策名	高校・大学機能の活用	課長名	淡野 浩	

1 施策の目的

相模原・町田大学地域コンソーシアム(平成19年6月設立)に参加し、市内の高校・大学が有する資源や人材を生かすことで、まちづくりの担い手が育ち、新たな文化・福祉・産業が発展することを目的とする。

2 施策の概要

市内の高校・大学が有する資源や人材を生かすため、相模原・町田大学地域コンソーシアムに参加し、大学と地域の連携によるまちづくりを推進する。

3 事業費 (単位:千円)

- 171750		() III = () 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
年度	平成19年度(決算)	平成20年度(決算)	増減の主な理由
事業費	17,100	17,100	
人件費	16,100	16,100	
市民一人あたりの 事業費(単位:円)	24	24	

^{*}年間の人件費はH19、H20ともに805万円/年とし、人口は、70.6万人(H20.4.1現在)、71.0万人(H21.4.1現在)とした。

4 成果·活動指標

順位		指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方(根拠)							
2	指標1	相模原・町田大学地域コンソーシアム 高等教育機関参加機関数	相模原・町田大学地域コンソーシアムの参加機関として関わった高等教育機関の数	組織化されたコンソーシアムの参加機関となり、主体的に関わることによって、高校・大学の機能が活用されているのかを表す。							
1	指標2	相模原・町田大学地域コンソーシアム 事業延べ実施機関数	相模原・町田大学地域コンソーシアムが実施した事業(受託事業を含む)に関わった高校及び高等教育機関の延べ数	コンソーシアム実施事業において、参加機関 に限らず、どの程度、高校・大学の機能が活 用されているのかを表す。							
3	指標3		ち市からの受託事業の延べ数	コンソーシアム実施事業において高校・大学の機能が活用されているのかを表す。 (コンソーシアムの運営基盤の強化が図られる間、当面は基準値と同程度の事業を協働で実施する。)							
	指標4										
	指標5										

		11.14.	44.	<i>'</i>	H	19	H	20	H	21	H	22
	基準年	基準	準値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	
指標1 (単位:機関)	H19	15	5.0	16.0	16.0	18.0	16.0	20.0		22.0		
総事業費・人員 (単位:千円・人)	0 0		0	0	0	0	0					
指標2	H19	39	.0	39.0	39.0	42.0	45.0	46.0		50.0		
総事業費・人員 (単位: 千円・人)	17100 2		17,100	2	17100	2						
指標3	H19	3	8	-	3	3	2	3				
総事業費・人員 (単位:千円・人)	C)	0	2,216	0	570	0					
指標4 (単位:)												
総事業費・人員 (単位: 千円・人)												
指標5 (単位:)												
総事業費·人員 (単位:千円·人)												

5 市民満足度調査結果(平成21年度実施分)							高校・	大学機能の活用		
○この施策の満足度は3.29で全119施策の中で35番目。 ○重要度は3.69で89番目である。 ○改善要望度は-0.182で89番目である。						施策 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上 北部 西部 南部 津久井 平均 3.892	満足度 3.290 35位 3.192 57位 3.217 40位 3.217 49位 3.219 39位 3.191 49位 3.358 35位 3.490 30位 3.263 46位 3.456 19位 3.202 46位 3.269 37位	重要度 3.690 89位 3.564 94位 3.513 93位 3.708 79位 3.557 95位 3.708 93位 4.077 38位 3.677 90位 3.764 78位 3.712 79位 3.556 92位 20ft 南部公 本の代 カンドラング・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・カン・		<i>U.E.</i>
					2.5	- 年齢別 - 地区別	H21♦ H21△	^支 均 3.234		
					2.0)	2.5 低い ← 湯	3.0 満足度 → 高い	3.5	4.0
6 1次評価(2つの視点から評価を行う)										
視点の種類	疗	価基準・ 着眼点	評価点	H20評価点	前回(H20)評価結果との比較分析 または優先順位の最も高い指標以外で評価した理由					
有効性	に対する 度合い を	が果たす施策 る目標の達成 を把握し、効果 事業を実施し	4 2 1	42 1						
効率性	最小の経費で最大限 の効果を得られるよ う、効率的に事業を実 施している		4 2 1							
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している		4 2 1	4 2 1						
合計 9				評価結果に基づく区 (9点以上) B(8.		の合計点数 (•5点) C			1次評価 A	
*Aは、良好、	、Bは、	事務事業の	見直しが必要	L 要、Cは、事利	8事業を統合・廃止	の方向			<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
7 課題と解決策(現状または、評価結果から)										
高校・大学機能の活用は、基本 り、活用そのものを施策とする。			は、基本的に、			艾のための手	≦段の1つとして	捉える	るものであ	
解決策 解決策			計画を策定す	「る中で、施賃	その構成等について	検討する。				
8 2次評価	及び意	 見(1次、2	 次で評価に	相違がある	場合など、必要に	に応じて意	見を記入)			

2次評価

Α

3次評価

Α

*Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

9 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)